

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	489 観光施設維持管理事業									
戦略プラン					担当部課	経済部観光推進課				
総合戦略	III	2	(1)	観光の振興	係名	観光施設係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-070103-12 観光施設維持管理に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分				事業期間	市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	第2次つくば市観光基本計画（平成29年4月策定）					事業体制	一部委託			
根拠法令					市長公約	81				
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>快適で魅力ある観光施設を提供し、つくば市の魅力向上を図る。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・筑波山頂施設維持管理 ・市営駐車場維持管理 ・観光案内施設維持管理 ・梅林維持管理 ・宝篋山休憩施設維持管理 ・森林体験パーク運営支援、修繕 ・荃崎地区観光施設維持管理 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・筑波山山頂施設維持管理 ・市営駐車場維持管理 ・各観光案内施設等維持管理（筑波山観光案内所、おもてなし館、BiViつくば観光案内所） ・梅林維持管理 ・宝篋山休憩所、バイオトイレ維持管理 ・森林体験パーク運営支援、修繕、改修工事 ・荃崎地区観光施設維持管理 ・Webカメラ等維持管理 ・観光施設修繕工事（梅林木道等） ・つくば市公共施設自主点検マニュアルの運用 					<ul style="list-style-type: none"> ・筑波山山頂施設維持管理（山頂公衆トイレ2カ所） ・市営駐車場維持管理（筑波山駐車場4カ所、山麓駐車場6カ所） ・筑波山ウェブカメラ維持管理 ・各観光案内施設維持管理（筑波山観光案内所・おもてなし館、BiViつくば観光案内所） ・筑波山梅林維持管理 ・梅林、水辺広場倒木伐採処理 ・森林体験パーク運営支援、修繕、改修工事 ・宝篋山小田休憩所、バイオトイレ維持管理 ・観光施設簡易修繕（21件） ・水辺広場維持管理 					
成果					課題					
<p>森林体験パークの改修工事を行ったことにより、コースが増え、利用者の年齢層の幅が広がった。 各施設とも異常または故障が発生した際に、その都度修繕を行うことで観光客の利便性及び安全を確保できた。</p>					<p>近年登山客が増えている宝篋山バイオトイレの故障が多発している。 また、筑波山頂公衆トイレでも老朽化が進み大規模な改修が必要となっている。</p>					
改善目標（R02年度にむけて）										
<p>近年、宝篋山における登山客の増加が顕著なため、トイレの故障を防止するための注意喚起など、宝篋山施設の維持管理に一層注視していく。 また、筑波山頂の公衆トイレの管理に必要な作業道及び山頂トイレ、その他設備等の修繕及び改修についても、設置者である県に引き続き要望を行う。</p>										
指標の推移										
1	指標名	観光客入込数					(万人)		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	400.0	400.0	339.0	376.0	382.0	424.0	427.0		
	実績	342.0	332.0	370.0	384.0	421.0	425.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（普通車）					(台)		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	80,000.0	82,000.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0		
	実績	74,578.0	80,806.0	84,850.0	84,914.0	83,948.0	75,945.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（大型車）					（台）	成果指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	1,300.0	2,000.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0
	実績	1,295.0	1,278.0	1,094.0	1,123.0	1,241.0	1,017.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名						（台）	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名						（台）	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	66,369	64,991	58,396	0
	一般財源	(千円)	25,163	72,908	66,689	0
事業費計		(千円)	91,532	137,899	125,085	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.60	2.00		
		時間外勤務 (時間)	683.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	12,988	13,566		
事業コスト		(千円)	104,520	151,465		

R02年度当初積算根拠	【歳入】	・筑波山駐車場使用料：45,775千円・おもてなし館使用料：118千円・行政財産使用料：168千円・森林体験パーク施設貸付収入：11,968千円・つくば駅南北自由通路内施設貸付収入：275千円・自動販売機電気料：77千円・筑波山頂水道建物損害共済保険負担金：15千円・筑波山観光案内所再整備事業債：32,900千円・筑波山観光用水管路改良事業債：9,300千円・筑波山梅林木道改修事業債：16,800千円
	【歳出】	・需用費：15,943千円・役務費：3,510千円・委託料：58,605千円・使用料及び賃借料：19,431千円 ・工事請負費：22,407千円・原材料費：235千円・備品購入費：946千円・負担金補助及び交付金：4,008千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	494 くさざき夢まつり事業								
戦略プラン					担当部課 係名	経済部観光推進課 観光イベント推進係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-070103-13 観光行事に要する経費				市民参加	■ 共有、理解			
要求区分	既存事業	事業期間				■ 企画・立案、計画			
個別計画	第2次つくば市観光基本計画（平成29年4月策定）						■ 実行		
根拠法令					事業体制	補助金（直接）			
					市長公約				
概要									
事業の目的					事業の概要				
地域に密着したまつりとして、様々な世代に楽しんでもらえるようなイベントを開催し、地域活性化及び交流の促進を図る。					<ul style="list-style-type: none"> ・地域のふれあいの場としてS49年から商工産業祭、H12年度からひまわりまつりとして開催され、地域のお祭りとして定着している。 ・現在は、地域活性化を促進するため、荃崎地区の区長会やPTAの関係団体等で実行委員会を組織し、より地域に根ざした市民参加型のイベントとして実施している。 				
評価									
事業計画					活動実績				
11月上旬 第7回くさざき夢まつりの開催 4月～12月 くさざき夢まつり実行委員会への出席 実行委員会事務局との連絡、調整					補助金交付要項制定 補助金申請受付、交付決定、実績報告受付、交付確定 実行委員会会議等へオブザーバーとして出席 イベント参加				
成果					課題				
補助金を交付し、事業の円滑な実施を支援した。 実行委員会会議へオブザーバーとして出席し、助言を行った。 （5回）					事業の円滑な実施のため、今後も支援・助言が必要である。				
改善目標（R02年度にむけて）									
事務局体制の確立及び強化を支援する。									
指標の推移									
1	指標名	くさざき夢まつりへの来場者数					(人)		成果指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	11,000.0	11,000.0	11,000.0	11,000.0	7,000.0	7,000.0	0.0	
	実績	11,000.0	2,000.0	10,000.0	2,000.0	7,000.0	8,000.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名	くさざき夢まつりへの出店団体数					(団体)		成果指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	37.0	43.0	33.0	29.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	600	600	600	0
事業費計		(千円)	600	600	600	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.50		
		時間外勤務 (時間)	80.00	57.50		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,611	3,534		
事業コスト		(千円)	2,211	4,134		

R02年度当初積算根拠	くきざき夢まつり事業費補助金 600千円×1					
-------------	------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	1	民間等への移管を検討する必要がある。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	495 つくば観光コンベンション協会補助事業									
戦略プラン					担当部課 係名	経済部観光推進課 観光振興係				
総合戦略	III	2	(1)	観光の振興	新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分	事業期間									
個別計画	第2次つくば市観光基本計画（H29年4月策定）									
根拠法令					事業体制	補助金（直接）				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
観光コンベンション協会の財源充実、体制強化を図り、行政を超えた領域の観光事業の充実を図る。					<ul style="list-style-type: none"> 観光コンベンション協会に対する指導、助言を行い適正な運営を図る。 誘客のための観光キャンペーンやイベント実施の際に連携を図る。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 協会運営が適正に行われるように、指導助言を行うとともに、協会との連携を強化し、観光キャンペーンや、観光イベントを実施することで、更なる観光誘客を行う。 					<ul style="list-style-type: none"> 協会の運営、予算の執行について、適切に実施できるように指導・助言を行った。 協会と連携し、観光イベント・キャンペーンを実施することにより観光誘客の強化を図った。 観光コンベンション協会総務委員会、理事会、総会にオブザーバーとして参加した。 					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> 観光コンベンション協会の事業費が適切に執行され、観光キャンペーン・イベント、その他誘客事業を実施することにより、観光入込客数の増加につながった。 					<ul style="list-style-type: none"> 国内の誘客のほか外国人旅行客の増加を目指していく。 					
改善目標（R02年度にむけて）										
<ul style="list-style-type: none"> 観光コンベンション協会との連携を更に強化し、海外からの誘客を目的としたインバウンド事業の強化・促進を図る。 										
指標の推移										
1	指標名	観光入込客数					(万人)		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	400.0	400.0	339.0	376.0	382.0	424.0	427.0		
	実績	342.0	332.0	370.0	384.0	421.0	425.0	0.0		
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウント1月から12月までの実績値（年集計）								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	41,275	41,275	45,621	45,621
事業費計		(千円)	41,275	41,275	45,621	45,621
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.00		
		時間外勤務 (時間)	15.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	1,450	0		
事業コスト		(千円)	42,725	41,275		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 観光コンベンション協会運営補助金 41,275千円 観光コンベンション協会人件費(増額) 4,346千円 					

予算の方向性	理由	人件費の増が見込まれるため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	496 観光振興事業								
戦略プラン					担当部課	経済部観光推進課			
総合戦略					係名	観光振興係			
					新規・継続	継続			
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費				事業分類	任意的事務			
要求区分		事業期間			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
個別計画	第2次つくば市観光基本計画（H29年4月策定）					事業体制	一部委託		
根拠法令					市長公約	81	82		
概要									
事業の目的					事業の概要				
つくば市の観光産業の振興を促進するとともに、地域経済の活性化を図る。					<ul style="list-style-type: none"> 市内の観光情報の発信（つくば市の魅力を紹介することにより、市外からの多くの方に来訪いただき、ひいてはリピーターの増加を目指す。） 観光ガイドブックの作成及び効果的な配布 つくば観光大使を活用した観光キャンペーンの実施 メディアへの情報発信等を積極的に実施 				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> Web上の訪日メディアMATCHAに掲載している、つくば市観光情報の追加 インバウンド研修会への参加 観光大使による観光PR実施。（つくばフェスティバル2日、まつりつくば2日、つくば物語1日、梅まつり6日、その他4日） 					<ul style="list-style-type: none"> インバウンド部会、研修会へ参加した。（4回） 訪日メディアMATCHAのWeb閲覧回数の調査 新たなインバウンド対策事業として多言語観光情報サイト「Guidoor」導入に向けて打ち合わせを実施した。 観光大使による観光PRを実施した。（つくばフェスティバル2日、まつりつくば2日、寅さんサミット1日、賀詞交歓会1日、県知事表敬訪問1日、梅まつり2日など） 				
成果					課題				
<ul style="list-style-type: none"> 訪日メディアに観光情報を掲載したことにより、外国人観光客の受け入れ体制が強化された。 観光大使を活用したPRを実施したことで効果的につくば市の観光情報を発信することができた。 					<ul style="list-style-type: none"> インバウンド対策として、Web上での訪日外国人に向けた更なる観光情報の発信の強化が必要である。 				
改善目標（R02年度にむけて）									
<ul style="list-style-type: none"> 訪日観光メディアに対して新たな情報を開発する。 インバウンド対策事業の拡大を図るため、新たに多言語観光情報サイトの導入を計画している。 									
指標の推移									
1	指標名	観光入込客数（万人）						成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	400.0	400.0	339.0	376.0	382.0	424.0	427.0	
	実績	342.0	332.0	370.0	384.0	421.0	425.0	0.0	
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウント1月から12月までの実績値							
2	指標名	インバウンド向けウェブサイトアクセス数（PV）						成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	6,000.0	6,500.0	6,500.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	6,458.0	6,314.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要	Web上の訪日観光メディアMATCHAページのアクセス数						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	11,268	16,916	7,618	0	
事業費計		(千円)	11,268	16,916	7,618	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.80	0.00			
		時間外勤務 (時間)	120.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	有	有			
人件費		(千円)	5,944	0			
事業コスト		(千円)	17,212	16,916			

R02年度当初積算根拠	・記念品代	5千円	・筑波ブロック負担金	100千円
	・旅費	56千円	・国際振興負担金	300千円
	・事務用消耗品	113千円	・漫遊いばらき負担金	1,406千円
	・参加記念品	275千円	・山麓秋祭り補助金	4,000千円
	・現場用消耗品	10千円	・宅配料	86千円
	・OA用消耗品	11千円	・パンフット設置	264千円
	・ポスターチラシ	69千円	・観光大使派遣	672千円
	・観光情報広告料	220千円	・観光PR備品賃借	11千円
	・駐車場使用料	20千円		

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	3,000	0	0	0
	一般財源	(千円)	10,712	26,747	22,437	0
事業費計		(千円)	13,712	26,747	22,437	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.00		
		時間外勤務 (時間)	15.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,156	0		
事業コスト		(千円)	15,868	26,747		

R02年度当初積算根拠	M I C E 協議会負担金	1,000千円
	M I C E 開催支援補助金	21,437千円

予算の方向性	理由	開催支援補助金3,000千円減のため。
縮小		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	498 筑波山交通渋滞対策事業									
戦略プラン					担当部課	経済部観光推進課				
総合戦略	III	2	(1)	観光の振興	係名	観光振興係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分	事業期間				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	第2次つくば市観光基本計画（H29年4月策定）					事業体制	一部委託			
根拠法令						市長公約				
概要										
事業の目的					事業の概要					
春と秋の行楽シーズンを中心に多くの観光客が筑波山を訪れることによる渋滞等の緩和を目的とする。					<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウィーク及び秋の行楽シーズンに関係機関と連携し筑波山の交通渋滞対策として、渋滞情報や駐車場の情報を発信、混雑箇所への警備員の配置、看板設置によるパープルライン方面への迂回誘導を実施する。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞対策会議の実施 ・車両の迂回誘導、パークアンドバスライドの実施等の渋滞対策 ・市営筑波山駐車場の入庫対策 ・交通規制を念頭にした、対策の検討 ・ウェブカメラを利用した渋滞状況の配信 					<ul style="list-style-type: none"> ・筑波山渋滞対策会議を開催した。 ・う回路誘導看板を設置した。 ・筑波山渋滞対策として、臨時駐車場を設け、つつじヶ丘駐車場までの区間、来訪者をピストン輸送するパークアンドバスライドを実施した。（春3回、秋1回） ・守谷SA下りにて、筑波山へ向かう観光客に対してう回路のPR活動を実施した。（春1回） ・筑波山口に臨時の観光案内所を開設し、近隣の観光情報と渋滞情報の掲示等をした。（秋1回） 					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞対策を実施した日については、筑波山口駅～筑波山観光案内所～つつじヶ丘までの所要時間の短縮が図れた。 					<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞が解消した訳ではなく、新たな対策が必要である。 ・主要道路の渋滞を解消しても、女体山山頂や筑波山登山道でも激しい混雑が発生することが予想され、混雑緩和の対策を考える必要がある。 					
改善目標（R02年度にむけて）										
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度については、女体山山頂、筑波山登山道の混雑状況の調査・確認を実施する。 										
指標の推移										
1	指標名	渋滞対策実施日数					(日)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0	18.0		
	実績	17.0	16.0	18.0	17.0	18.0	20.0	0.0		
	指標の概要	春と秋に実施した渋滞対策の対応日数								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	3,185	1,839	3,274	0
事業費計		(千円)	3,185	1,839	3,274	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.00		
		時間外勤務 (時間)	250.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,739	0		
事業コスト		(千円)	5,924	1,839		

R02年度当初積算根拠	看板	108千円
	横断幕	93千円
	現場用消耗品	26千円
	渋滞対策警備	1,569千円
	渋滞対策バス運行	1,320千円
	無線機貸借	158千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	499 おもてなし観光推進事業							
戦略プラン					担当部課 係名	経済部観光推進課 観光振興係		
総合戦略	III	2	(1)	観光の振興	新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費							
要求区分				事業期間	市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画	第2次つくば市観光基本計画（H29年4月策定）							
根拠法令					事業体制	全て委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
観光客に対してきめ細やかで質の高い「おもてなし」を提供し、つくば市を訪れた方の満足度の向上を図る。				<ul style="list-style-type: none"> 観光コンベンション協会への委託（観光ボランティアガイドの育成） つくば市内での観光ガイド 				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 観光ボランティアガイドの外国人へのガイド力等を含めた技術の向上のため、養成講座や研修会を開催する。 Biviつくば観光案内所において、つくば市を訪れた観光客への案内業務を行う。 				<ul style="list-style-type: none"> 観光ボランティアガイドの養成を目的にボランティアガイド養成講座を開催した。（10講座、20名） 観光ボランティアガイドのスキルアップを目的とした7研修会を開催した。（参加者数、延べ224人） Biviつくば観光案内所において、つくば市を訪れた観光客に対して、日本語と英語による観光案内のほか、多岐に渡る問い合わせなどに対応した。 				
成果				課題				
観光ボランティアガイドのスキルアップがみられた。				更なるおもてなし向上のため、ボランティアガイドのスキルアップが必要である。				
改善目標（R02年度にむけて）								
ボランティアガイドのスキルアップのための研修会の内容の充実を図る。								
指標の推移								
1	指標名	筑波山観光入込客数（万人）					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0
	実績	209.0	196.0	221.0	225.0	247.0	250.0	0.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、筑波山観光入込客をカウントした値（年集計）						
2	指標名	ボランティアガイド登録人数（人）					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	39.0	40.0	50.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	9,251	9,760	10,346	0
事業費計		(千円)	9,251	9,760	10,346	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.00		
		時間外勤務 (時間)	25.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	1,474	0		
事業コスト		(千円)	10,725	9,760		

R02年度当初積算根拠	観光協力の家謝礼	210千円
	ボラガイド作業服	68千円
	ネイチャーガイドチラシ	53千円
	観光情報掲載料	55千円
	汲み取り料	8千円
	Biviつくば案内業務	8,863千円
	観光ボラレベルアップ	330千円
	ネイチャーガイド委託	495千円
	バス賃借料	264千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	436	212	374	0
事業費計		(千円)	436	212	374	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.00		
		時間外勤務 (時間)	35.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,205	0		
事業コスト		(千円)	2,641	212		

R02 年度当初 積算根拠	フットパスマップ印刷	308千円
	フットパス修繕	66千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	502 レンタサイクル事業							
戦略プラン					担当部課 係名	経済部観光推進課 観光振興係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
要求区分		事業期間						
個別計画	第2次つくば市観光基本計画（H29年4月策定）							
根拠法令					事業体制	一部委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
つくば駅の周辺地域や、筑波山麓周辺地域の観光資源を幅広く活用するための利便性向上を図り、2次交通の手段として活用する。				<ul style="list-style-type: none"> つくば駅及び筑波山口で自転車の貸出業務を実施する。貸出しにあたり、申請書受理及び利用料金の徴収等を委託し、自転車の修理、日別・月別利用台数調査を実施する。 				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> レンタサイクルの実施 貸出場所：①BiViつくば観光案内所 ②筑波山口（関東鉄道つくば北営業所） 貸出期間：①②共に、H31.4.1～R2.3.31 				<ul style="list-style-type: none"> レンタサイクル貸出業務 ①BiViつくば観光案内所：自転車数(大人26台、子ども4台) 貸出数：大人4,112台、子ども148台 計4,260台 利用率38.9% ②筑波山口：自転車数(大人16台、子ども2台) 貸出数：大人634台、子ども51台 計685台 利用率7.8% ・自転車更新 ①BiViつくば観光案内所：新規購入大人6台、廃棄大人6台 ②筑波山口：新規購入大人2台、廃棄大人2台 				
成果				課題				
<ul style="list-style-type: none"> つくば市を訪れた観光客などの2次交通手段として広く利用された。 定期的にレンタサイクルの点検・修理を実施し、利用者が安全に安心して利用提供できた。 				<ul style="list-style-type: none"> 利用率の向上を図るため、レンタサイクル事業をより広く周知していく必要がある。 				
改善目標（R02年度にむけて）								
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と協力して、レンタサイクル事業の周知方法を検討し、更なる観光誘客を図る。 								
指標の推移								
1	指標名	レンタサイクル利用台数 (台)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	3,556.0	3,586.0	4,000.0	4,200.0	4,400.0	5,400.0	5,500.0
	実績	3,281.0	4,057.0	4,346.0	5,100.0	5,318.0	4,945.0	0.0
	指標の概要	つくば駅及び筑波山口での自転車の年度内貸出数						
2	指標名	レンタサイクル利用率 (%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	22.5	25.0	27.5	30.0	32.5
	実績	0.0	0.0	24.8	29.1	30.3	25.0	0.0

	指標の概要	つくば駅及び筑波山口での自転車の年度内利用率						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	2,400	2,464	0	0
	一般財源	(千円)	-888	-1,092	2,118	0
事業費計		(千円)	1,512	1,372	2,118	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.00		
		時間外勤務 (時間)	20.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	1,462	0		
事業コスト		(千円)	2,974	1,372		

R02年度当初積算根拠	・消耗品	2千円
	・現場用消耗品	6千円
	・ポスター・チラシ	61千円
	・申請用紙印刷	50千円
	・自転車修繕	456千円
	・防犯登録手数料	4千円
	・保険料	100千円
	・B i v iつくば貸出業務	220千円
	・筑波山口貸出業務	680千円
	・点検整備委託	341千円
・自転車購入	198千円	

予算の方向性	理由	令和2年度より都市計画部総合交通政策課へ事業移管
維持		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	503 広域レンタサイクル事業								
戦略プラン						担当部課 係名	経済部観光推進課 観光振興係		
総合戦略	III	2	(1)	観光の振興		新規・継続	継続		
						事業分類	任意的事務		
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費								
要求区分		事業期間				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画	第2次つくば市観光基本計画（H29年4月策定）						事業体制	全て委託	
根拠法令						市長公約			
概要									
事業の目的					事業の概要				
<p>日本初の広域レンタサイクル乗り捨てシステムを構築することにより、新たな観光ツールを提供し、観光客や地元住民が地域を周遊する動機づけとする。</p> <p>また、茨城県のサイクリング環境を広くPRするとともに、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。</p>					<p>茨城県、対象地域の14市町村、国、企業、その他関係団体で構成する、つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会の中で県、関係8市町と広域レンタサイクル部会を構成し、レンタサイクル乗り捨てシステムの事業を展開していく。</p>				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 茨城県と8市町による広域レンタサイクル部会により広域レンタサイクル事業を実施 貸出施設：BiViつくば観光案内所 貸出期間：H31.4.1～R2.3.31 					<ul style="list-style-type: none"> 広域レンタサイクル貸出事業をBiViつくば観光案内所で実施した。 つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用促進協議会会議に出席した。 つくば霞ヶ浦利活用促進協議会PR部会に出席した。 				
成果					課題				
<ul style="list-style-type: none"> 広域レンタサイクルの貸出・返却業務を円滑に行い利用者の満足向上が図れた。 つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用促進協議会と連携しつくばりんりんロードのPR活動を行った結果、つくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクリングロードの認定を受け、利用者数の増に繋がった。 					<ul style="list-style-type: none"> つくば霞ヶ浦りんりんロードの認知度を高めていく必要がある。 				
改善目標（R02年度にむけて）									
<ul style="list-style-type: none"> ナショナルサイクリングロード認定を受け、広域レンタサイクル事業を効果的にPRし、利用者増加を目指す。 									
指標の推移									
1	指標名	広域レンタサイクル利用者数 (人)						成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	155.0	744.0	1,643.0	2,594.0	3,115.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	514	985	985	0	
事業費計		(千円)	514	985	985	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.00			
		時間外勤務 (時間)	10.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	有	有			
人件費		(千円)	731	0			
事業コスト		(千円)	1,245	985			

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> つくば霞ヶ浦りんりんロード協議会負担金 200千円 広域レンタサイクル負担金 785千円 						

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	506 観光客動態調査事業							
戦略プラン					担当部課 係名	経済部観光推進課 観光振興係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-070103-15 観光客動態調査に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
要求区分		事業期間						
個別計画	第2次つくば市観光基本計画（H29年4月策定）							
根拠法令					事業体制	一部委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
つくば市を訪れる観光客の動態を把握することにより、観光施策の適正な実施及び推進に必要な基礎資料を得る。				<ul style="list-style-type: none"> つくば市内の代表的な見学可能な研究施設等及び、筑波山への入込数を調査し、県に報告する。（委託事業） 筑波山は交通量調査から入込客数を測定し、その他については各施設から報告を受け、県に報告する。 なお、通年調査の他、集客数の大きいイベントの来場者数も報告を行う。 				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 茨城県からの委託を受け、観光入込客数の調査を実施 筑波山及び宝篋山において5、8、11、2月の観光入込客数調査（交通量調査）等 観光施設への入込客数及びイベント等の入込客数の把握 茨城県への調査報告 				<ul style="list-style-type: none"> 筑波山及び宝篋山において5、8、11、2月の観光入込客数調査（交通量調査）等を実施。 観光施設への入込客数及びイベント等の入込客数の把握 茨城県への調査報告 				
成果				課題				
つくば市内の観光入込客数の現状を把握できた。				宝篋山の入込客数調査について、登山口が複数あるため、調査箇所追加が必要である。				
改善目標（R02年度にむけて）								
宝篋山の登山口について、追加調査箇所の検討をし、正確なデータ収集に努める。								
指標の推移								
1	指標名	観光客（筑波山・宝篋山観光客）入込数調査日数（日）					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	24.0	12.0	8.0	16.0	16.0	17.0	0.0
	指標の概要	筑波山での交通量調査とアンケート調査日数						
2	指標名	観光入込客数（万人）					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	400.0	400.0	339.0	346.0	353.0	424.0	427.0
	実績	342.0	332.0	370.0	384.0	421.0	425.0	0.0

	指標の概要	1月から12月までの実績値 観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく観光入込客をカウントした値（年度集計）						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	111	116	118	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	238	286	284	0
事業費計		(千円)	349	402	402	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	0.10	0.00	
		時間外勤務	(時間)	20.00	0.00	
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	756	0		
事業コスト		(千円)	1,105	402		

R02年度当初積算根拠	観光客動態調査委託料 402千円					
-------------	------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	1	民間等への移管を検討する必要がある。
行政が関与する必要性について		
優先度	1	事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	487 筑波山梅林及びその周辺整備事業									
戦略プラン	IV	3	1	観光の振興	担当部課 係名	経済部観光推進課				
	III	2	(1)	観光の振興		観光施設係				
総合戦略					新規・継続	継続				
						事業分類 任意的事務				
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分	事業期間									
個別計画	筑波山梅林及び周辺整備計画 等									
根拠法令	自然環境整備交付金					事業体制	補助金（間接）			
					市長公約	81				
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>筑波山梅林及びその周辺を一体的に活用した整備をすることで、新たな通年型観光拠点とし、更なる筑波山観光の利便性と魅力を向上し、周辺観光産業の活性化を図る。</p> <p>通年で新たな世代の客層とリピーターを獲得することで、筑波山観光の閑散期の解消に寄与する。</p>					<p>・筑波山旧がま園跡地及び梅林周辺の市有地を有効に活用し、筑波山観光を推進するため、環境省自然環境整備交付金を活用して、観光施設の整備を行う。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<p>・観光施設整備 筑波山観光案内所、公衆トイレ新設設計及び測量</p>					<p>・観光施設整備 筑波山観光案内所、公衆トイレ新設設計協議の実施 9回 また、測量を実施し、新設予定土地の境界立ち会いを土地所有者と実施した。</p>					
成果					課題					
<p>設計協議により観光案内所に公衆トイレを併設し、カフェスペース、周辺観光関係者が利用できる会議室、インバウンドに対応した案内機能を設けることとした。また、外観は自然に調和したオープンなイメージとし、筑波山観光の拠点施設に相応しい観光案内所とすることとした。</p>					<p>筑波山観光案内所の裏面にある現存の擁壁では、新設予定の建築物に対し強度が建築基準に満たしていないため、擁壁についても改築工事を実施する必要がある。</p>					
改善目標（R02年度にむけて）										
<p>筑波山観光案内所改築を円滑に行うために、擁壁の測量及び改築を令和2年度中に実施する。</p> <p>この他、筑波山観光に重要な役割を持つ、山頂水道の水源が年々枯渇してきているため、新たに令和2年度より筑波山観光用水安定供給事業を開始し、管路敷設替えの令和3年度予算計上に向けた、設計及び測量を実施する。</p>										
指標の推移										
1	指標名	筑波山観光客入込数					(万人)		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0		
	実績	209.0	196.0	221.0	225.0	247.0	251.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（普通車）					(台)		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	80,000.0	82,000.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0		
	実績	74,578.0	80,806.0	84,850.0	84,914.0	83,948.0	75,945.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	市営筑波山駐車場利用台数 (大型車) (台)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	1,300.0	2,000.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0
	実績	1,295.0	1,278.0	1,094.0	1,123.0	1,241.0	936.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	梅まつり来場者数 (万人)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	15.0	16.0	16.0	15.0	17.0	13.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	10,197	0
	地方債	(千円)	0	0	59,000	0
	その他	(千円)	1,116	0	0	0
	一般財源	(千円)	30,866	13,389	16,012	0
事業費計		(千円)	31,982	13,389	85,209	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.20	1.00		
		時間外勤務 (時間)	400.00	250.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	9,462	7,399		
事業コスト		(千円)	41,444	20,788		

R02年度当初積算根拠

筑波山観光用水管路改良測量設計業務委託 (13,118千円+9,542千円) =22,660千円 (10,197千円 県支出金対象45%) 市債 9,300千円

- ・筑波山観光案内所擁壁改築工事設計委託 3,927千円
- ・仮設筑波山観光案内所賃借 5,643千円
※R2年7月からR4年3月までの賃貸借 債務負担行為済み
※R3年4/1~3/31 7,524千円
- ・筑波山観光案内所擁壁改築工事 43,877千円
※市債 32,900千円
- ・筑波山観光案内所解体撤去工事 9,102千円

予算の方向性	理由	筑波山及び筑波山麓地域の魅力ある観光資源をいかし、訪れる人々に安全で充実した時間を過ごしてもらおうための観光施設等の整備を行うため
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	488 筑波山麓整備事業								
戦略プラン	IV	3	1	観光の振興	担当部課 係名	経済部観光推進課			
	III	2	(1)	観光の振興		観光施設係			
総合戦略					新規・継続	継続			
						事業分類 任意的事務			
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費								
要求区分		事業期間			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
個別計画	筑波山周辺観光整備基本構想、第2次つくば市観光基本計画					事業体制 一部委託			
根拠法令						市長公約 81			
概要									
事業の目的					事業の概要				
<p>筑波山麓の豊かな自然と歴史的文化資源を活用して、山麓地域の活性化を図るとともに、駐車場や公衆便所等の利便施設を整備する。</p> <p>筑波山～山麓地域までの回遊性を高め、筑波山地域を一体的に整備することで、行楽シーズンに集中する筑波山観光への分散を図る。</p>					<ul style="list-style-type: none"> 観光誘導及び地域活性に寄与するため、自然景観に配慮した利便施設を整備する。 観光案内及び注意喚起看板の設置 				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 新寺、山口（2）コース用地測量：1.7km 国有林内のコース用地確定 山麓駐車場整備 H29年度閉鎖となった市営山麓神郡駐車場の整備工事 					<ul style="list-style-type: none"> 市営筑波山麓神郡駐車場測量 市営筑波山麓神郡駐車場整備工事 宝篋山山口（2）コース、純平歩道用地測量 国有林内の全コース用地測量完了 宝篋山登山道注意喚起看板設置（常願寺コース） 				
成果					課題				
<p>新たな場所に市営筑波山麓神郡駐車場を整備し、駐車場不足を緩和した。</p> <p>宝篋山の国有林内にある登山コース用地の測量がすべて完了したことで、次年度に茨城森林管理署と賃貸借契約を締結できる。</p>					<p>宝篋山の登山客の増加が著しく、特にシーズン中は駐車場が不足しているため、臨時駐車場の開設や新しい駐車場の整備が望まれている。</p> <p>また、登山客が増えただけでなくゴミの投棄も見られるため、看板の数を増やすなど、登山マナーの周知を徹底していく必要がある。</p>				
改善目標（R02年度にむけて）									
<p>駐車場が不足しているため、新しい駐車場の整備に向けて駐車場用地購入を検討する。</p> <p>自然公園及び国有林の保全に対する注意喚起を行うため、登山案内看板を設置する。</p>									
指標の推移									
1	指標名	観光客入込数 (万人)					成果指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	400.0	400.0	339.0	376.0	382.0	424.0	427.0	
	実績	342.0	332.0	370.0	384.0	421.0	425.0	0.0	
	指標の概要	1月から12月までの実績値							
2	指標名	宝篋山入込客数 (万人)					成果指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8	8.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	6,372	12,240	148	0
事業費計		(千円)	6,372	12,240	148	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.60		
		時間外勤務 (時間)	100.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,367	4,070		
事業コスト		(千円)	8,739	16,310		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 工事請負費148千円 内訳 宝篋山登山道看板（常願寺コース） 148千円 					

予算の方向性	理由	<ul style="list-style-type: none"> 宝篋山登山コースの測量及び、神郡駐車場整備が完了したため。 新宝篋山駐車場用地の測量業務及び造成設計業務が査定の結果、先送りになったため。
縮小		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	25,500	30,000	30,800	0
事業費計		(千円)	25,500	30,000	30,800	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.00	2.00		
		時間外勤務 (時間)	3,500.00	579.75		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	22,801	14,993		
事業コスト		(千円)	48,301	44,993		

R02年度当初積算根拠	まつりつくば補助金 30,800千円×1					
-------------	----------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	492 つくば物語事業									
戦略プラン	IV	3	1	観光の振興			担当部課 係名	経済部観光推進課 観光イベント推進係		
総合戦略							新規・継続	継続		
							事業分類	任意的事務		
予算科目	01-070103-13 観光行事に要する経費									
要求区分		事業期間					市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画	第2次つくば市観光基本計画（H29年4月策定）									
根拠法令							事業体制	一部委託		
							市長公約			
概要										
事業の目的					事業の概要					
平沢官衙遺跡を始めとする観光スポットを認識し、良さを知ってもらい、筑波山や筑波山麓に再来訪してもらう。					<ul style="list-style-type: none"> 平沢官衙遺跡PRを兼ねて、一流アーティストによるコンサートを中心に地元物産の販売を実施 手法：イベント内容を企画し、市広報・ポスター/チラシなどを作成し広報活動を行う。 					
評価										
事業計画					活動実績					
・10月下旬に平沢官衙遺跡を会場に「文化財と音楽」をテーマに実施する。					<ul style="list-style-type: none"> 本年度については、同時に開催する筑波山麓秋祭りを、より効果的な地域活性化のイベントとするため、本事業の根本的な見直しを行い、本事業を中止とし、筑波山麓秋祭りの予算を拡充した。 筑波山麓秋祭りへの支援を充実することで、観光客増加の取り組みが強化でき、筑波山麓の周遊観光の充実が図られた。 					
成果					課題					
改善目標（R02年度にむけて）										
指標の推移										
1	指標名	つくば物語への来場者数					(人)		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	9,000.0	9,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	0.0	0.0		
	実績	3,500.0	5,000.0	4,000.0	800.0	5,000.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	()								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	5,476	0	0	0
事業費計		(千円)	5,476	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.00		
		時間外勤務 (時間)	200.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,615	0		
事業コスト		(千円)	8,091	0		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	新規事業実施のため
廃止		

方向性	
市民ニーズ	
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	
行政が関与する必要性について	
優先度	
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	4,300	4,300	4,500	0
事業費計		(千円)	4,300	4,300	4,500	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	450.00	338.75		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,646	4,226		
事業コスト		(千円)	8,946	8,526		

R02年度当初積算根拠	つくばフェスティバル補助金 4,500千円×1					
-------------	-------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	505 サイエンスツアー事業									
戦略プラン	IV	3	1	観光の振興	担当部課	経済部観光推進課				
総合戦略	III	2	(1)	観光の振興	係名	観光振興係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分	事業期間				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	第2次つくば市観光基本計画（H29年4月策定）					事業体制	補助金（直接）			
根拠法令	つくばサイエンスツアー推進事業に係る協定				市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
研究機関の集積する筑波研究学園都市の特性を活かし、市外から観光客を誘客する。					<ul style="list-style-type: none"> つくばサイエンスツアー実行委員会（事務局：茨城県）から（財）茨城県科学技術振興財団つくばサイエンスツアーオフィスへ事業委託 学校団体を中心に、一般団体や個人をつくばの研究機関等へ誘客する。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 誘客件数 学校団体200校、15,000名 一般団体140団体、5,000名 外国人誘客 外国語対応可能な職員の配置 英語版ホームページ及びSNS等による情報発信 外国語広報資料の作成・配布 					<ul style="list-style-type: none"> 首都圏を中心に教育委員会への告知活動を実施した。 科学技術週間、夏季期間中におけるサイエンスツアーバスの特別運行を実施した。 夏季期間中に謎解きイベントを実施した。 英語、中国語の通訳が可能なガイドが同行するツアーを実施した。 学校団体157校、 9,445名 一般団体100団体、2,531名					
成果					課題					
研究機関、サイエンスツアーオフィスと連携し、謎解きイベントを実施したことにより、参加者からの好評を得た。					夏季などの長期休み以外の時期についての誘客を増やす。					
改善目標（R02年度にむけて）										
新たな誘客イベント等を開催し、夏季以外の誘客の増加を図る。										
指標の推移										
1	指標名	サイエンスツアー利用者数 (人)						成果指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	20,366.0	20,188.0	16,135.0	16,209.0	14,478.0	11,976.0	0.0		
	指標の概要	つくばサイエンスツアーオフィスを通じてサイエンスツアーに参加した人数								
2	指標名	()								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	11,000	11,000	11,000	0
事業費計		(千円)	11,000	11,000	11,000	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.00		
		時間外勤務 (時間)	50.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	831	0		
事業コスト		(千円)	11,831	11,000		

R02年度当初積算根拠	サイエンスツアーオフィス負担金 11,000千円					
-------------	--------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		